

新しい公共支援事業に関する都道府県の実績報告（平成 23 年度下半期）

1. 実施状況

(1) 実施した事業の概要

委託事業（契約 7 件）及び補助事業（モデル事業に係る補助金交付 22 件）を実施した。

- NPO等支援委託事業（中間支援組織等による企画提案型の委託事業）… 委託実績 5 件
 [上半期に開始し, 下半期まで継続実施した事業]
 - ・ 1 次募集（募集期間 H23. 4. 27～6. 7 / 応募 1 件） 委託 1 件
 [下半期に実施した事業]
 - ・ 2 次募集（募集期間 H23. 7. 21～8. 22 / 応募 4 件） 委託 2 件
 - ・ 3 次募集（募集期間 H23. 10. 24～12. 2 / 応募 2 件） 委託 2 件
 ※ このほか 4 次募集（募集期間 H24. 1. 27～2. 29）及びその審査を実施した。
- その他の委託事業（支援事業の円滑・適切な実施のための調査等）… 委託実績 2 件
 [下半期に実施した事業]
 - ・ NPO等による震災復興支援活動実態調査事業（後記 4. ①-(イ)の事業）
 - ・ NPO等による震災復興支援活動情報発信事業（後記 4. ①-(キ)の事業）
- 新しい公共の場づくりのためのモデル事業 … 補助実績 22 件
 [上半期に開始し, 下半期まで継続実施した事業]
 - ・ 1 次募集（募集期間 H23. 4. 27～6. 7 / 応募 9 件） 補助 6 件
 [下半期に実施した事業]
 - ・ 2 次募集（募集期間 H23. 7. 21～8. 22 / 応募 4 件） 補助 4 件
 - ・ 3 次募集（募集期間 H23. 10. 24～12. 2 / 応募 14 件） 補助 12 件
 ※ このほか 4 次募集（募集期間 H24. 1. 27～2. 29）及びその審査を実施した。

(2) 運営委員会の開催状況

運営委員会（募集事業のヒアリング及び審査会を含む。）を 4 回開催した。

開催年月日	開催場所	会議内容
H23. 9. 29	自治会館 202 会議室	・ 2 次募集事業のヒアリング及び審査会
H23. 12. 20	県庁 4 階 特別会議室	・ 3 次募集事業のヒアリング
H24. 1. 20	県庁 4 階 庁議室	[報告事項] ・ 新しい公共支援事業交付金の追加交付について ・ 新しい公共支援事業実施要領等の改正について [審議事項] ・ 新しい公共支援事業 実績報告（平成 23 年度上半期）及び評価について ・ 新しい公共支援事業 事業計画の変更について ・ 新しい公共支援事業の第 4 次募集について
H24. 3. 22	みやぎNPOプラザ	・ 4 次募集事業のヒアリング及び審査会

2. 成果目標の達成状況

基本方針及び事業計画に掲げる評価項目及び成果目標（平成24年度末の到達目標値）並びにその達成状況（平成23年度末の実績値）については、次のとおりであった。

評価項目	成果目標	達成状況	摘要
(1) 支援対象者が提出する成果等報告の評価ランクについて、全ての成果等報告に対するC以上の成果報告等の割合	80%以上	100%	下記4.①～③の64団体から報告された評価ランクは、次のとおり。 S … 27団体(42.2%) A … 17団体(26.6%) B … 9団体(14.0%) C … 11団体(17.2%) D … なし
(2) 県とNPO等との委託事業（1件50万円以上）の概算払の割合	95%以上	0%	新しい公共支援事業による委託事業7件を実施したが、いずれも委託期間が3ヶ月以内の短期であったため、概算払をしなかった。
(3) マルチステークホルダーとして会議体に参画する団体数	102団体以上	59団体	下記4.③の22団体の成果等報告中、「マルチステークホルダー（会議体）の取組状況」欄に記載された参画団体数の合計は59団体。

3. 全体評価

新しい公共の場づくりのためのモデル事業については、これを本県における新しい公共支援事業の柱と位置付け、震災被災地の復興のため活動するNPO等への支援に積極的に活用した結果、上半期の採用事業を含め、計22件の応募事業（うち震災対応事業19件）に対する支援（補助）を実施できた。

大震災後の混乱の中で被災地の行政が十分機能していない状況下において、被災住民の支援やコミュニティ再生等に大きな役割を果たした事業、また、元々市民活動団体が少なかった農漁村の被災地に市民活動の気運を醸成した事業などもあり、このモデル事業を担う団体として、被災地等に新たなNPOが生まれている。

NPO等の活動基盤の整備等や新しい公共支援事業の円滑な実施のための委託事業については、中間支援組織等による企画提案型事業5件を含めて計7件の事業を実施し、すべて適切に履行された。

なお、成果目標とした委託料の概算払の割合（前記2.(2)）は未実施・未達成となったが、これはすべての委託事業が委託期間3ヶ月程度の短期事業であり、概算払を要しなかったものである。

モデル事業及び委託事業を総合した全体評価としては、本県における最重要の地域課題である被災地の復興や被災者の支援に効果的に活用できたことから、この観点からみれば十分にA評価（「優れた成果が認められた」）以上の自己評価を付すことが妥当であると考えられた。

しかしながら、モデル事業として採択した事業のうち過半数は、第3次募集での採択となり、この採択時期は12月下旬となったことから、本格的に事業が動き出すのが平成24年度となり、この評価を行う平成23年度末の時点では、未だ具体的な事業の成果を上げるまでに至らなかったものも少なくない。

さらには、これまで他団体と連携してプロジェクトを進めた経験がないNPO等が協議体の中心となったり、協議体に加わる行政の側も山積する震災対応の業務に追われ、事業への参画が不十分であるなどの事情により、当初描いた計画どおりには進んでいないモデル事業も一部見られたことから、本来、モデル事業が目指している地域の多様な担い手の参加による事業展開（マルチステークホルダー・プロセス）という観点からみると、やや評価を下げねばならないものと考えられた。

こうしたことから、平成23年度末時点における全体評価については、B評価（「一定の成果が得られた」）を採用するものである。

評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった
-------	---

4. 個別実績報告の総括表

① 新しい公共支援事業（③を除く）

業務名 ※1	委託した場合は受託した団体等名	種別 ※2	自己評価
(ア) 被災地NPOのための出前専門相談会事業 [提案方式導入]	(特活)杜の伝言板ゆるる	基・資	S
(イ) NPO等による震災復興支援活動実態調査事業	(特活)せんだい・みやぎNPOセンター	他	/
(ウ) NPOセクターの社会的信用をより高めるための情報発信基盤整備事業 [提案方式導入]	(特活)せんだい・みやぎNPOセンター	基	S
(エ) NPO法人会計基準及び認定NPO法人の普及事業 [提案方式導入]	(特活)杜の伝言板ゆるる	基	A
(オ) 「NPO大学」～楽しく学んで地域・元気～市民活動団体レベルアップ支援及びネットワーク構築事業 [提案方式導入]	(特活)Azuma-re	基	A
(カ) 新寄附税制と資金調達に関するNPOの理解促進事業[提案方式導入]	(特活)せんだい・みやぎNPOセンター	基・寄	A
(キ) NPO等による震災復興支援活動情報発信事業	(特活)杜の伝言板ゆるる	他	/

※1 プロポーザル方式の発注を行ったものには“[提案方式導入]”、派遣専門家等の実績・評価を公表しているものには“[派遣評価公表]”、支援対象者の数や満足度が委託費の支払いに反映できる仕組みを導入しているものには“[満足度反映]”と記載してください。

※2 「種別」欄には、活動基盤整備支援に関連するものは「基」、寄附募集支援に関連するものは「附」、融資円滑化支援に関連するものは「資」、利子補給に関連するものは「利」、その他に関連するものは「他」と記載してください。（複数回答可）

② 支援対象者

事業名	団体・組織等名	種別 ※3	自己評価
(ア) 被災地NPOのための出前専門相談会事業 [上記①.(ア)の事業]	(特活)よつば荘ほか 36 団体 ※ 相談会に参加したNPO等から後日回収したアンケート結果を自己評価区分に当て嵌めた。 S … 大変満足 A … 満足 B … やや満足 C … (未回答) D … (「不満」など)	基・資	S 20 A 6 B 1 C 10 D 0

※3 「種別」欄には、活動基盤整備支援に関連するものは「基」、寄附募集支援に関連するものは「附」、融資円滑化支援に関連するものは「資」、利子補給に関連するものは「利」と記載してください。（複数回答可）

③ モデル事業

事業名	団体・組織等名	分類 ※4	自己 評価
(ア) カーシェアリング事業実現に伴うモニタリング及び試験運用	東日本大震災被災地向けカーシェア事業推進協議会	震	C
(イ) 東松島復興支援センター事業	東松島ふるさとづくり協議会	震	A
(ウ) 子どもをとりまく豊かな環境づくり事業	冒険あそび場・仙台市協議体	震	S
(エ) 地元物産を購入するお客様を集める観光ツアープロジェクト	南三陸町商店街復興協議会	震	S
(オ) 町の商店主等の経営者の自立を目指すコンテナ商店街プロジェクト	南三陸町商店街復興協議会	震	B
(カ) 石巻震災復興まちづくり事業	石巻ふるさと復興協議会	震	A
(キ) 発達障がいのある児童・生徒の個人別指導事業	みんなの教室協議体	震	A
(ク) 仙台市国見地区における「地域支え合いセンター（仮称）」のモデル的運用	全国コミュニティライフサポートセンター・仙台市協議体	震	B
(ケ) 大崎の「宝」＝「人」（たからびと）プロジェクト	大崎の「宝」＝「人」（たからびと）プロジェクト実行委員会	重	B
(コ) 復興まちづくり推進センター実証事業～生活支援からコミュニティ支援の仕組みづくり～	復興まちづくり推進協議会	震	S
(サ) アーティストと子どもたちでつくる創造的アートプロジェクト	アーティストと子どもたちでつくる創造的アートプロジェクト実施協議体	震	A
(シ) せんだいマチナカアートプロジェクト	仙台市（共同応募者：財団法人仙台市市民文化事業団）	般	B
(ス) 新しい公共による名取交流センター運営事業	名取交流センター協議会	震	A
(セ) みさとNPOサポートセンター設置事業	みさとNPOサポートセンター運営協議会	震	C
(ソ) 亘理いちごっこコミュニティ創出事業	亘理いちごっこコミュニティセンター協議会	震	S
(タ) 復興イベントの開催ならびに復興ツアー調整事業	復興市を創る会	震	A
(チ) 登米市市民活動支援拠点づくり事業	とめ市民活動支援協議会	震	S
(ツ) とめコミュニティライフサポート事業	とめコミュニティサポートネット	震	A

(テ) コミュニティ型学習支援センター「19 (ジューク) Tsutsuzigaoka」	19 Tsutsujigaoka 協議体	震	B
(ト) みやぎ被災地「定点観測アーカイブ」プロジェクト	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	震	A
(チ) 情報レンジャー@宮城	情報レンジャー@宮城連携協議会	震	B
(ニ) 新しい公共に向けた話し合いの場づくり事業	大崎市新しい公共の場づくり協議会	重	B

※4 「分類」欄には、新しい公共の場づくりのためのモデル事業のうち、一般枠の事業は「般」、NPO支援重点化枠の事業は「重」、社会イノベーションの推進のためのモデル事業については「イ」と記載してください。【宮城県付記：震災対応事業は「震」と記載する。】

【様式6】

別紙

運営委員会による評価結果報告（平成23年度下半期）

平成24年7月12日付け共社第166号による報告事項については、承認します。